

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1、子ども達の健康な身体をつくる給食について 【質問趣旨】 本市では、小中学校共に完全給食を実施している。 小学校を単独校方式（掛川小学校および令和8年開校みつば小学校はセンター方式）中学校をセンター方式（にじの丘中学校は単独校方式）の運営としており、安心安全で栄養価が高く、美味しい給食を子ども達に提供している。給食は、健康な身体を作る重要な栄養補給であると共に、主食・主菜・副菜などバランスが良いメニューや行事食、郷土料理の提供は、将来にわたり食生活の元にもなり得る。	(1) センター校と単独校の運営について	① 昭和 52 年に本市の給食提供の方針が、センター校化から単独校化へと移行したが、その理由を伺う。 ② 単独校のメリットは、調理後給食までの時間が短く安全性が高い事、栄養教諭等の配置によりそれぞれの学校の実態に合わせられること、一方でセンター校のメリットは、物資の一括購入、施設の一括管理により維持管理費の軽減など経済的であるとしている。また県内で 70.4%（令和5年5月1日付）の市町村はセンター校の運営としている事を踏まえ、本市において現在の運営方法を選択している理由を伺う。 ③ 栄養教諭等は、単独校に各1名、センターに3名の計18名（県費負担8名、市費負担10名）であり、県の定める基準よりも多い人員配置となっている。単独校に1名ずつ配置しているメリットを伺う。 ④ 小学校調理場および学校給食センターは、衛生管理基準が新基準に適合していないことについて、市の見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
しかし本市において、学校給食センター老朽化や物価高騰への対応などの課題がある。また、市長が公約に掲げられた給食費無償化の進捗はどのような状況なのか。子どもの身体をつくる大切な給食について、今後の見通しを含め、順次質問をする。	(2) 学校給食センター老朽化について	① 学校給食センターは昭和 50 年に建築、平成 10 年に増改築を実施、建築から 50 年ほど経過しているが現在の建物についての課題を伺う。 ② 令和 6 年 10 月一部改訂「瀬戸市学校施設の個別計画」において「給食センターの老朽化対策と併せて、単独校調理場のセンター化を含めた給食施設のあり方を検討する」と示された。「単独校調理場のセンター化」は、昭和 52 年から続く本市の学校給食のあり方そのものの方針変更となる。中項目（1）小項目①を踏まえ、どのような考え方での変更なのか伺う。 ③ 「瀬戸市学校施設の個別計画」に、具体的な手法として「共同調理場・単独校調理場の機能集約」と示されている。単独校をセンターに機能集約した場合、栄養教諭の配置、調理後給食の時間までが短く安全性が高い等の単独校でのメリットは、どのように担保していく予定か伺う。 ④ 現在、小学校の長寿命化工事を順次行っている。調理場は、具体的な手法として示されている「機能集約」をしても、整合性がとれる工事内容になっているのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 学校給食費未納者の現状	① 令和6年度は4月から7月までの学校給食費の未納額は、2,154,949 円となっている。また前年同月比では、未納額が増えているが、どのように捉えているか伺う。 ② 未納要因の一つとして、外国籍の方への周知不足と聞いているが、どのように対応をしており、成果はあるのか伺う。あわせて他の要因と対応策についても伺う。 ③ 学校給食費の徴収事務は現在、各学校が担当している。現年度と過年度を合わせて、令和6年度7月分までの累積未納額は6,158,845 円となっている。 各月250人ほどの未納者への督促業務、現金での集金後に納付用紙での振込み手続きを教職員が行っている事について、教職員の多忙化の観点から市の見解を伺う。 ④ 滞納者への督促業務について、在校中は学校の教職員、卒業後は学校給食センターが行っている。一元管理の方がよいのではないかと考えるが、市の見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 物価高騰への対応	① 現在、物価高騰の影響を受けながらも、安価な食材への転換などの工夫により、学校給食摂取基準の栄養 13 価のほとんどを満たすことはできている。しかし、小学校の献立に果物などの甘味を直近では用意できなくなっていると聞いている。献立を減らすことになっている理由を伺う。 ② 物価高騰に対応するため、直近3年間は、国の臨時交付金を食材費に充当させており、保護者および市費の負担増はなかった。 しかしながら、結果的に献立の内容が変更になった事は、どのような理由から決定したのか伺う。
	(5) 市長公約である給食費無償化の進捗状況	① 子育て支援として、様々な取り組みが考えられる中、公約で掲げられている給食費を無償化することの政策目的および効果は、どのようにあると考えているのか伺う。 ② 給食費無償化を実施している自治体では、3歳から中学生までが対象の自治体や第三子のみが対象の自治体など様々である。本市における給食費無償化への実施計画はされているのか伺う。 ③ 物価高騰により、既に市費負担分の運営費も増加している中において、無償化をした場合、財源の安定的な予算の確保は検討されているのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		④ 令和6年6月12日文科科学省より、学校給食に関する実態調査の結果が発表されたが、結果を踏まえ本市における給食費無償化をした場合の影響を伺う。 ⑤ 瀬戸市議会では、給食費無償化は国の関与が必要と考え、政府および国会に対して令和6年3月定例会にて、「学校給食の無償化を求める意見書」を提出している。本市では無償化実現に向け、県や国に要望書や意見書の提出など、連携体制をとれるような取り組みをしているのか伺う。 ⑥ 以上の質問を踏まえ、公約に掲げられた給食費無償化について実施の方向性を伺う。 ⑦ 給食費を無償化した場合、財政負担の増加により、給食の質や量の低下が懸念される。無償化を実施する場合、こうした懸念事項について検討されるのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。